

世界事情科目



01 中国事情

China

● 中国政府が提唱した「中国製造2025」や「一帯一路」経済圏構想をはじめ、ヒト、モノ、マネーのみならず、中国から発信した中国式の行動様式や価値観は全世界に大きな影響を及ぼしています。こうした中、最大の貿易相手国である中国と「ウィン・ウィン」の関係構築のためには何をすべきでしょうか。また、今後、日中関係のさらなる改善を促すためには中国と如何に付き合えばよいのでしょうか。

その一方で、中国語の学習者をはじめ、日本の若者たちの多くは隣国を知る機会に恵まれず、中国に対する理解も主にマスメディアに取り上げられているものにとどまってしまう、歪んだ中国像を持ってしまう場合もあるでしょう。

このような状況を解決するため、この授業では中国の文化・歴史・社会、政治と経済体制とその形成要因、ビジネスモデル、とくに加速する中国のキャッシュレス社会、同年代の若者の生き方(教育、就職、結婚)などをとりあげ、中国の各側面に詳しい専門家を外部講師として招請し、特別講座を開催していただきます。

授業を通じて、等身大の中国の基本的特徴をつかみ、将来、中国を相手に仕事をするためのノウハウや人脈づくり等の基礎知識を習得することができます。さらに異文化に対する理解力の向上にともない、日中両国における本当の意味での提携の大切さを認識し、両国間の互恵関係の構築、ならびにグローバル社会に対応できる国際型人材に必要なとされる基礎的素養を身につけることも期待されます。

02 韓国事情

Korea

● 日本から最も近い国、韓国について学んでみませんか。グローバル社会において国や文化、言語が違う人同士のコミュニケーションのためにはお互いのことを理解することが非常に重要です。本授業では隣国である韓国の文化について日本と比較しながら学んでいきます。韓国の文化や韓国人の考え方を知り、日本と比較することで両国の文化への理解をより深めていくこと、また、異文化コミュニケーションを円滑に図ることを目的としています。

授業の前半は留学生が実際に日本人とのコミュニケーションに失敗した事例やデータを通して日韓のさまざまな文化の違いについて学びます。例えば、どこからが友人でどこからが知り合いなのか、その境界線は日本人と韓国人では異なっています。どのように異なるのかどうして異なるのか、知りたくありませんか。

授業の後半は3回にわたって春学期に韓国人留学生を対象とする「日韓文化事情」というクラスの授業生たちに来てもらい、直接韓国人と交流できる時間を設けています。また、韓国人留学生が日韓の文化の違いについて調べたことを発表してくれますので、日韓の文化についてみなさんが普段考えたこともない新しい発見がたくさんあると思います。

みなさんの周りには留学生はさまざまな目的自分の国を離れ新しい環境で日々文化の違いにぶつかりながらも学業に励んでいます。彼らの国、文化、人を理解し、一緒に成長していける授業だと思っので是非受講してみてください。

03 台湾事情

Taiwan

● あなたは「台湾」と聞くとどんなことを連想しますか。タピオカミルクティー?マンゴーアイス?親日の人が多い?高校では台湾についてどんなことを学習しましたか。植民地支配?その詳細については学習しましたか。台湾の人はそのことに対して今どう思っているのか知っていますか。1931年に甲子園で準優勝した嘉義農林という学校を知っていますか。台湾人ながら日本に育ち、日本語で小説を書いている温又柔さんという作家を知っていますか。

本講義では、現代台湾の映画、小説、エッセイなどの鑑賞・講読、さらには戦前の台湾文学の講読を通して、複雑な歴史、多面的な文化を持つ台湾の社会を見ていきます。

本講義の最大の特徴は、毎回、台湾やその他の国からの留学生との意見交換の機会を設けることです。留学生との対話を通じて、日本の歴史と、未来について考えてみてください。さらに台湾に興味を持った人は台湾人留学生のチューターになったり、台湾の協定校に交換留学、ショートビジットしたりする機会もあります。是非、このチャンスを生かしてください!

04 ベトナム事情

Vietnam

● 本科目は、新興国の中でも将来性の高いベトナムについて、言語、歴史、文化、経済、ビジネス、政策などの観点から基本的な事項を理解するとともに、ベトナムについて自ら知識を深めていくためのスキルを養うことをねらいとしています。本学大学院を修了し、ベトナムビジネスコンサルタントとして活躍する傍らテレビ番組にも出演するなど多彩な活動を展開するグエン・ベト・ハーさんを講師に招いて、インタラクティブで実践的な学習の場を提供します。ベトナム語については、挨拶や簡単な会話と作文ができるレベルを目指しています。招待講師のほか、ティーチング・アシスタント(ベトナム人大学院生)がベトナム語学習を強力にサポートします。学習効果を高めるため、本科目向けに独自に開発したデジタル教材(インフォグラフィックス)や授業収録動画とオンライン環境を積極的に活用して授業を進めます。これらの教材や環境は、授業時間外の学習にも利用することができます。最終日には、ベトナム語を使ったグループプレゼンテーションを実施します。グループごとに指定されたトピックについて、ベトナム語をPCで入力しながら発表スライドを作成し、一部はベトナム語を用いて発表を行います。本授業で獲得した知識とスキルは、ベトナムについて更なる学びを自ら切り開いていく礎となることでしょう。

05 インドネシア事情

Indonesia

● 「世界第4位の人口を抱える、日本と関係の深い国は?」と聞かれ、みなさんはどこの国と答えるでしょうか?そうです。答えは「インドネシア」です。この国は中国、インド、米国に次ぐ約2億5,000万人の人口を抱えます。国民の約87%がイスラム教を信じており、世界最大のイスラム教徒を擁する国でもあります。また、日本はインドネシアと歴史的、経済的に深い関係があり、現在、インドネシアには1,800社近い日系企業が進出、同国にとって日本は最大の援助国となっています。

そんな国にまずは親しみをもちたいため、本講義では、主にインドネシア語会話とインドネシアの基礎的な国情や日本との結びつきについて学ぶことに重点を置きます。「インドネシア語は世界でも指折りの学びやすい言葉」といえます。日本在住のインドネシア人講師が実践的な会話を教えてくれ、例年、集中講義を終えただけでも、講師と楽しく会話する学生の姿が見られます。インドネシア語と類似のマレー語を公用語とする「マレーシア」の国情についても学びます。みなさんの履修をお待ちしています。

(講義は12月~1月、集中講義の予定)

06 ブラジル事情

Brazil

● 南米の大国ブラジル連邦共和国について、言語(ポルトガル語)をふくめて多面的に学ぶことができます。言語については他大学からポルトガル語学科の専任教員(ブラジル人)を招き、それ以外の地理学、交通工学(都市交通)、船舶工学、経済学分野については、YNU教授が担当します。ブラジルを代表する銀行の日本支店に勤務する在日ブラジル人、学生時代にブラジルでインターンシップを経験した社会人も、講師に招きました。学術界とビジネス界からの、多彩な講師による短期集中コースです。

講義は初心者向けのポルトガル語など基礎的なことから含んでいますが、詳しく専門的にブラジルを知りたいという学生を受講生として想定しています。高度な内容も含んでいますが、全学教育科目ですので、各講師ともわかりやすい説明を心がけています。

YNUにはブラジルとの国際協力や学術交流に、長年かかわってきた教員が多いのですが、これは横浜という港町にある大学の特徴といえるでしょう。横浜港は、南米との交易・交流の長い歴史があり、一般にはあまり公開されないような専門情報や、またブラジルとの協力事業の当事者証言のような臨場感のある情報に触れることができる点も、このコースの特徴といえます。

07 パラグアイ事情

Paraguay

● 南米のおへそにあるパラグアイ共和国をご存じですか?パラグアイの人々はスペイン語とグアラニー語、そしてジョパラと言われるスペイン語とグアラニー語が融合した言語を話します。また、日系移住者が10,000人居住しており、日本語を話し、日本食を食べる地域もあります。授業では、1) 植民地の歴史、2) 戦争の歴史、3) カナリア諸島から持ち込まれた伝統工芸品ニャンドティについて、4) パラグアイの社会・経済開発、5) ジェンダー課題などについて包括的に学びます。また、パラグアイの伝統的なダンスやパラグアイ農村部で日常的に使用されているグアラニー語も学びます。

この授業を通し、パラグアイについて学び、2年次に開講される「開発人類学」において開発援助や国際協力の実践と接合していきます。その後、希望者は、授業における学びを生かし、大学で展開するグローバル・スタディー:パラグアイ・ブラジル・ポリビア渡航において、パラグアイ他におもむき、横浜国立大学学術交流協定大学:アスンシオン国立大学他との学術交流、日系社会における交流、都市や農村における国際協力の実践を行います。大いなる学びを得て、新しい自分を見つける旅にでましょう!